

ります。

ロータリークラブの職業奉仕の理念は、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というモットーで表されています。このモットーはロータリアンであり、また経営コンサルタントでもあった、アーサー・フレデリック・シェルドン(1868~1935)の理想とする経営理念であり、顧客に満足を与える経営でもあり、その前提となるものは高い職業倫理であります。即ち自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図をもって事業を営めば、結果として継続的な事業の発展が得られるという考え方です。

本日の講演会が、皆様の経営に少しでもご参考になれば、幸甚の喜びであります。

皆様のご参加に心から感謝申し上げます。

■ロータリーの誕生と成長

1905年、経済や社会が荒んだ大都会シカゴで青年弁護士ポール・ハリスは、職業の異なる仲間3人と語り、「お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい」という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーは、集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。こうして同年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

その後、志を同じくするクラブが各地に生まれ、国境を越え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,399、会員総数120万人以上になっています。日本には、1920年に米山梅吉氏(当時三井銀行常務取締役、三井信託創設者)等によって東京で初めて創られ、現在クラブ数2,265、会員総数9万人近くに達しています。当地区(国際ロータリー第2590地区)は、横浜市・川崎市内の全57クラブからなり、約2,100名の会員が活動しています。

ロータリー経営大講演会 次第

総合司会 第5グループガバナー補佐 久米真浩

●13:00 開会式

ロータリー紹介ビデオ上映

点鐘 ガバナー 高良 明

開会宣言 実行委員長 箕田敏彦

ガバナー挨拶 ガバナー 高良 明

「ロータリーの職業奉仕の精神」ロータリー財団

100周年記念目録贈呈 ガバナー 高良 明

●13:40 基調講演

テーマ「長く繁栄する企業の条件」 西川盛朗

●14:40 休憩

●15:00 講演&パネルディスカッション

パネラー紹介 西川盛朗

パネラーによる講演

テーマ「これからの老舗を目指して~理念に基づ

く経営のあり方~」 浜田吉司

「世界の企業が目指す持続性の方向とは」

高梨一郎

「女性の視点から企業のあり方を考える」

大宅映子

パネルディスカッション&質疑応答

ファシリテーター 西川盛朗

パネラー 浜田吉司

パネラー 高梨一郎

パネラー 大宅映子

●17:00 閉会式

点鐘 ガバナー 高良 明

司会 第4グループガバナー補佐 樋口 明

●17:30 懇親会(ロイヤルホールヨコハマ)

開会挨拶 神奈川ロータリークラブ会長 野口隆史

乾杯 実行委員長 箕田敏彦

閉会挨拶 第7グループガバナー補佐 田邊義勝

●18:40 終了



※川崎百合丘RCの会員は、進行、舞台、ドリンクコーナー等で当日の会場運営の手伝いをいたしました。